

【かな箸づくり】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

大工道具でおなじみの鉋（かな）を使い、角材から檜（ひのき）箸を加工します。自分の手のサイズに適正なサイズにすることもできます。

活動に必要なもの

- 団体（個人）で用意するもの
 - ①かな箸 250円 （※1 か月前までに「教材申込書」を食堂に提出する。）
 - ②サラダ油 ③布きん（サラダ油用） ④新聞紙
- 交流の家で貸出可能なもの
 - ①かな ②木づち ③治具 ④滑り止めマット ⑤クランプ ⑥横木
 - ⑦サラダ油を入れる容器 ⑧バーニングペン ⑨紙やすり
 - （※かな箸づくりの道具は、20 セットあります。1 セットを 2 人組で使います。）

活動前の準備

- 入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- 講師を依頼した団体は、活動開始前に講師と打ち合わせを行う。
（※講師との打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と決定しておく。）
- 「ゴミ袋」を事務室で受け取る。
- 食堂売店に、教材を取りに行く。
- 活動場所で、用具の準備を行う。
（※貸出用具の準備は、交流の家職員が行います。セッティングは、利用団体が行います。）

活動の流れ

【活動中】

- ①道具の使い方、活動の進め方等を確認する。
- ②かな箸を作る。（※「かな箸の作り方」参照）

【作成後】

- ③使用した研修室を清掃し、机を元の状態に戻す。
- ④使用した道具を片付ける。
（※貸出用具の最終的な片付けは、交流の家職員が行います。利用団体は、片付け、数の確認等をお願いします。）
- ⑤「ゴミ袋」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。
- ⑥報告後、使用した場所は職員の点検を受ける。

留意点

- R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを必ずご確認ください、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。
- 刃物やバーニングペンを扱うので、けがややけどに十分に注意してください。
- 有料講師をご希望の場合、指導者 1 名につき最大 40 人までとなります。
- 複数の団体が同時刻で活動する場合、道具を分けて活動する場合があります。または、活動日程を変更していただく場合があります。